

# 施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	受入体制の充実と観光情報の発信		施策No	06-02		部課名	産業経済部観光振興課		
						課長名	山下	内線	460
関連部課名	産業経済部観光振興課								
行政評価 事業体系	分野	Ⅲ		産業革新都市					
	政策	06		人が集う魅力あるまちの形成					

**目的** 国内外から荒川区を訪れる観光客の受入体制を充実させるとともに、広く荒川区の魅力を発信し、区のイメージアップと知名度向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	まちの魅力	2.68	2.68	—	荒川区は区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？
②					
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度 見込み	目標値 (8年度)	
①	観光ボランティアガイド活動実績回数（回）	38	24	0	5	35	2年度は新型コロナウイルスの影響により受入数が減少する見込み
②	観光PR協力所設置件数	92	81	83	85	113	
③	まちあるきマップ発行部数累計（千部）	1,916	2,038	2,086	2,150	3,017	
④							
⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		元年度	2年度	差額	行政収入	勘定科目		元年度	2年度	差額
		給与関係費	23,222	16,756	▲ 6,466			地方税等	0	0	0
	物件費	17,870	5,305	▲ 12,565		国庫支出金	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		都支支出金	6,565	860	▲ 5,705		
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	0	0
	補助費等	2,862	1,185	▲ 1,677		使用料及び手数料	0	0	0	0	0
	減価償却費	531	531	0		その他	0	0	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	6,565	860	▲ 5,705		
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,849	3,170	1,321		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,769	▲ 26,087	13,682		
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	0	0
	行政費用合計(b)	46,334	26,947	▲ 19,387		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,769	▲ 26,087	13,682		
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,769	▲ 26,087	13,682		

  

貸借対照表	勘定科目		元年度	2年度	差額	流動負債	勘定科目		元年度	2年度	差額
		収入未済	0	0	0			還付未済金	1,245	875	▲ 370
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	1,245	875	▲ 370		
	有形固定資産	2,933	2,563	▲ 370		その他の流動負債	0	0	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債	4,256	5,218	962		
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金	4,256	5,218	962		
	工作物等	5,523	5,523	0		その他の固定負債	0	0	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 2,590	▲ 2,960	▲ 370		負債の部合計	5,501	6,093	592		
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	▲ 1,761	▲ 2,885	▲ 1,124		
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	▲ 1,761	▲ 2,885	▲ 1,124		
	その他の固定資産	807	645	▲ 162		負債及び正味財産の部合計	3,740	3,208	▲ 532		
	資産の部合計	3,740	3,208	▲ 532							

### 財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用において物件費の割合が高くなっているが、これは観光情報提供事業において、区の魅力を発信するための観光パンフレットの作成に要する経費を支出しているためである。

○物件費は前年度と比較すると3割程度となっているが、これは元年度の観光情報提供事業における観光アプリの導入及び受入体制整備事業におけるフリーWi-Fiの導入によるものである。また、行政収入における都支出金の差額についても主に同事業によるものである。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区のイメージアップと知名度向上を図るため、観光アプリや観光パンフレット、SNSを活用した情報発信のほか、観光ボランティアガイドの育成、区内宿泊施設や飲食店における外国人受入環境の整備に対する支援、ユニバーサルデザインによる観光案内標識、フリーWi-Fiスポットの整備、観光案内所等におけるきめ細かな観光情報の提供など、受入環境の充実と区内外に向けた情報発信に努めている。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により、観光目的の入国は制限されており、外国人旅行者は激減している。</p> <p>○新たな客層へ情報発信するために、民間観光雑誌のフリーペーパーを作成し、区外書店等で配布することを企画している。</p>
課題	<p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の展開を見据え、外国人観光客を含めたより一層の受入環境の整備が求められるとともに、区内外に向け、より効果的に広く情報を発信していくことが必要である。</p>
今後の方向性	<p>○外国語に対応した「観光アプリ」を随時更新し、掲載スポットを増加させるなど、より利便性を向上させ、観光客を「おもてなし」する体制を強化する。</p> <p>○SNSを積極的に活用し、効果的な情報の発信を図る。</p> <p>○観光案内所を受入の拠点として、区内関係機関や関係団体、交通事業者等と連携し、質の高いサービスを旅行者に提供する。</p> <p>○荒川区を熟知した観光ボランティアガイドによる「まちあるきツアー」では、更に魅力的なコースを考案するなど、魅力向上を図る。</p> <p>○「多くの人が荒川区を知っている」という状態を目指し、観光PR協力所の拡大を進めるほか、外国語版観光パンフレットの作成など、外国人を含めた観光客にとって、より魅力的なサービスの提供に努める。</p> <p>○区の魅力を広く発信するため、国内外に向けた多様な情報発信手段の検討・活用を進める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策を重点的に推進する。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
観光情報提供事業	06-04-01	22,408	14,942	10,673	3,263	重点的に推進	重点的に推進	区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた様々な情報発信を工夫する取組みを重点的に推進する。
荒川区観光大使PR事業	06-04-02	1,698	1,139	98	62	継続	継続	観光大使のPR力を活用し、区の魅力を発信するため、継続して実施する。
観光振興懇談会運営費	06-04-05	1,762	2,299	162	145	継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に今後の計画及び施策に反映するため、継続して実施する。
受入体制整備事業	06-04-07	20,466	8,568	9,800	3,021	重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を重点的に推進する。
合 計		46,334	26,948	20,733	6,491			